編集ボランティアのページ

●担当編集ボランティア / 日置雅夫・岩下茂子

コロナ禍で人の交流も経済も落ち込む いままでの国際協力の成果とこれから

新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。経済活動は大幅に停滞し、日常生活にも支障をきたしています。コロナ禍の前まであったいろいろな国際協力はほとんど止まってしまいました。JICAの海外青年協力隊も全員日本に帰国しています。

スリランカでNPO活動をしているタランガ　フレンドシップ　グループ(TFG)の活動を思い出します。

当時、TFGが行っていた植林事業は、売るとお金になるマホガニーなどの木の苗や、マンゴーのように実のなる木の苗を農家の庭に植えることです。ひと家族あたり8本くらいを村のすべての家に配りました。また、職業訓練も行い、日本から中古のミシンをスリランカに送り、足踏みミシン講座を村の女性が受講する仕組みを作っていました。

私は2003年8月にTFGのスタディーツアーに参加し、初めてスリランカを訪問しました。この時、TFG10周年記念事業が実施され、TFGが北西州で実施している植林事業や職業訓練などの関係者や州政府高官とともに運動会やバザーが行われました。

バザーでは研修生が自分で作った服や小物などを披露し、商品の説明をしてくれました。バザーでは他にスリランカのお菓子なども売っていました。町の広場で行われた運動会は、運営を日本の女学生が中心となり、私もお手伝いしました。その時の私はとても心地よい気持ちでした。

その後、私はスリランカの低開発村の若者のための職業訓練支援を続けることとなりました。コロナ禍が収束し、落ち着いたら、再度国際協力を行いたいと思っています。(日置)

スリランカの村の子どもたち
来訪者を民族舞踊で歓迎(2005年5月に撮影)

～～～尾西おやこ劇場!!～～～

尾西おやこ劇場は、4歳以上のみんな(0～3歳は親子)が活動しています。

昨今、人と人の繋がりが希薄と言われている中、仲間と一緒に舞台を見たり、音楽を聴いたり、遊んだり、話し合ったりすることで、感受性や豊かな人間関係が育まれ、それが生きる力となります。そんな子どもたちの成長を長い目で一人一人見守り、暖かい眼差しを向けながらも、親御さん達も一緒に成長できる場所でありたいと願って活動しているグループです。

今年は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、予定していた行事が中止や延期を余儀なくされましたが、7月からはしっかりとした感染予防対策をして活動を再開し、少しずつみんなが心を解放して笑いが戻ったように思います。

今後は、状況がどのようになるか分かりませんが、

『ニコリのたね』　日時:2月13日(土)午後6時開演　場所:尾西生涯学習センター　を予定しています。興味を持たれた方は下記までご連絡ください。お待ちしております。

家族だけではなかなか体験できないことを仲間と共に作りあえる。それが尾西おやこ劇場です。(岩下)

【尾西おやこ劇場へのお問い合わせ】
尾西おやこ劇場事務所　一宮市小信中島字下郷西12
TEL／FAX　61-5052　月曜～金曜　10:00～15:00